水產試験研究等企画調整業務

篠原 直哉・佐藤 博之・中川 清

本県の水産試験研究の効率的、効果的な実施と、県民の水産業・水産物への理解促進を図るため、企画調整業務を行った。

実施状況

- 1. 広報広聴業務
- (1) 広報
- 1) 刊行物の発行

水産海洋技術センターの平成25年度事業報告及び研究報告を編集作成し、関係機関に配付するとともに、ホームページで公開した。

2) 情報誌の発行

各海区の試験研究情報や普及指導情報を掲載した「なみなみ通信」, 県内の水産物の販売に関する情報を掲載した「魚っ魚ーと(とっとーと)」をそれぞれ年2回発行し, 関係機関に配付するとともに, ホームページで公開した。

3) インターネットによる水産情報の発信

ホームページにおいて,試験研究成果を掲載するとともに,海況情報や赤潮情報など漁業者に必要な情報を提供した。また,県産水産物を積極的に取り扱う「ふくおかの地魚応援の店」や漁村イベントの開催など,県民を対象とした情報を発信し,アクセス数は約100万件であった。

4) 試験研究成果市町報告会

海区毎に市町を対象とした試験研究成果報告会を開催した。また,漁協関係者などの会合において,試験研究

に関する報告や指導を随時行った。

(2) 広聴

1) 試験研究要望調查

市町,漁協,系統団体に対し,試験研究要望調査を行った。提出された要望事項は,試験研究の新規課題に反映させるとともに,必要な対応を速やかに行った。

2. 研修

(1) 視察・研修

本県水産業に対する理解促進のため、水産資料館の運営や研修会・イベントの開催を行った。

1) 水產資料館

本県水産業を紹介する映像の放映やパネル展示などを 行った。利用者は、県民をはじめ、県外からの来館者が あり、外国からの来館者もあった。

2) 研修会・イベント

主に小学生を対象に、研修会を開催した(表1)。さらに、県のサイエンスマンスの一環として、11月29日に「おめで鯛まつり」を開催し、試験研究成果の展示をはじめ、海苔すき体験やタッチングプールなどを実施した。(2)研修受入

開かれた研究機関として、インターンシップや職場体験の研修生を受け入れた(表2)。

3. 県産水産物認知度向上

県産水産物の認知度を高めるため、漁業関係者が行う 県産水産物のPR活動を支援や県内の小中学校へ県産地 魚の情報提供した(表3)。

表1 イベントの開催状況

| 日程 | 場所 | イベント名称 | 概要 |
|--------|-------------------------|-----------------------------|---|
| 8月12日 | 水産資料館 | 『プランクトンを観察しよう』 | 各種プランクトンの観察を行い、海域環境の保全の必要性等についての啓発を行う。 |
| 8月19日 | 水産資料館 | 『海藻押し花で自分だけの 海底ランプをつくろう』 | 海岸の漂着物を利用したイベントを通じて、地域の小学生に海岸の保全などが水産資源の保護・増大につながっていること等を啓発する。 |
| 8月19日 | 水産資料館 | 『海の贈り物アートをつくろう』 | 海藻に関わる活動を通じて、藻場の機能について啓発し、海藻の有用性を周知する。 |
| 8月26日 | 水産資料館 加工実験棟 | 『かまぼこをつくろう』 | 地元産の魚類から「かまぼこ」を調理する体験を通じて、魚介類の調理方法、地元産魚 介類の旬などの情報について説明を行う。 |
| 8月27日 | 水産資料館 | 『ゆでだこを作って 食べてみよう。』 | 地元産の水産物である「マダコ」を生から調理する体験を通じて、地元産魚介類の旬、美味しさなどについての普及・啓発を行う。 |
| 11月29日 | センタ ー 施設内 | サイエンスマンス2014 おめで鯛まつり | 水産業の普及、環境保全、旬の魚、藻場・干潟機能など水産の多岐にわたる内容について一般県民に体験していただき、必要性について啓発を行う。 |

表2 インターンシップ、職場体験等にかかる研修生の受入状況

| 日程 | 研修生 | 人数 | 受け入れ機関 | 概要 |
|----------------|------------------------|-----|--------------|---|
| 6月5日~6日(2日間) | 中学生 (朝倉市立比良松中学校) | 2 | 内水面研究所 | 内水面研究所の飼育魚管理、水槽設備管理業務補助及 び水質分析業務補助 |
| 8月18日~22日(5日間) | 大学生 (広島大学) | 2 | 企画管理部 研究部 | 研究部浅海増殖課の調査業務における調査補助、企画 管理部が実施する夏休みイベント等の業務補助 |
| 9月1日~5日(5日間) | 高等専門学校生徒 (有明高等専門学校) | 2 | 有明海研究所 | 有明海研究所のり養殖課、浅海増殖課調査補助、漁業取 締船乗船実習 |
| 9月11日~12日(2日間) | 中学生 (福岡市立能古中学校) | 1 | 企画管理部 研究部 | 研究部資源環境課の測定業務補助、企画管理部の業務 補助 |
| 9月17日~18日(2日間) | 中学生 (福岡市立玄洋中学校) | 4 | 企画管理部 研究部 | 研究部資源環境課の測定業務補助、企画管理部の業務 補助 |
| 合計 | | 11人 | | |

表3 県産水産物の認知度向上の主な取組

| 日程 | 場所 | 名称 | 概要 |
|-----------|--------|------------------------------|-------------------------------------|
| 6月11~17日 | 福岡市博多区 | 糸島フェア | 天然マダイをはじめとした糸島産水産物を試食販売 によるPR |
| 8月31日 | 糸島市 | 「ふくおか農業応援ファミリー」農林漁村 体験ツアー | 地引き網体験、地魚の調理方法などの体験実習の 実施 |
| 9月10日 | 糸島市 | 糸島さかなっ子教室 | 糸島の児童を対象に県産地魚の情報を提供 |
| 10月3~5日 | 福岡市中央区 | 九州うまいもの大食堂 | 地島の特産品をPR |
| 10月7日~9日 | 福岡市博多区 | Food Expo Kyusyu 2014 | 試食・チラシ配布によるPR 漁業者グループによる 出店への支援 |
| 10月~3月 | 福岡市内 | 福岡県産地魚に関する情報提供 | 福岡市立中学校(3校)に対する家庭科授業での 県産地魚の情報提供 |
| 11月16日 | 筑後市 | 福岡駅伝 | 福岡のりや宗像地区の水産加工品を試食販売に よりPR |
| 11月18日 | 福岡市博多区 | 「福岡のおいしい幸せ」大晩餐会 | 6次産業化商品のPR |
| 11月~2月 | 糸島市内 | 福岡県産地魚に関する情報提供 | 糸島市立中学校(1校)に対する家庭科授業での 県産地魚の情報提供 |
| 1月19日 | 福岡市中央区 | ふくおかの恵みあったかマルシェ | 天神地区での6次産業化商品のPR |
| 1月29日 | 福岡市博多区 | ふくおか「農と商工の自慢の逸品」 展示商談会 | 筑前海区の水産物を商品の展示などにより、 来場者にPR |
| 2月20日 | 福岡市博多区 | ふくおかの恵みあったかマルシェ | 博多駅周辺での6次産業化商品のPR |
| 2月15日 | 朝倉市 | 三連水車の里あさくら 糸島の牡蠣試食販売 | 朝倉市で糸島かきの試食・チラシ配布による PR |
| 2月22~3月1日 | 福岡市中央区 | あまおう祭り | 糸島かきや唐泊恵比須かきをチラシの配布 によりPR |